



笑顔に勇気づけられて

10月12日、本渡中学校3年生の作田祐也君が市役所を訪れてくれました。9月に台湾で行われた障害者の水泳大会「第3回ロータリーカップ」で金メダル3個、銀メダル1個を獲得し、その報告に来てくれました。現在、日本身体障害者水泳連盟の育成A選手に選ばれているとのこと。

作田君は左手首から先がなく、脳梗塞による右半身まひの状態生まれ、そのリハビリとして1歳半から水泳を始めたということです。

これまで並大抵ならぬ努力があったと思いますが、作田君から「苦労した」とか「きつかった」とかいった言葉は一切なく、ニコニコ顔で水泳の楽しさやこれからの新たな目標を話してくれました。

人柄でしょうか、彼の笑顔と言葉は、どんな困難も簡単にやってのけられるような気分にさせ、私たちに自信を持たせてくれます。彼の成し得た功績は、間違いなく私たち市民にとって誇るべきものですし、私もこれからの市政運営を行ううえで、勇気づけられた気持ちになりました。

4年後のパラリンピック・リオデジャネイロ大会の出場を大いに期待していますとともに、市民とともにエールを送りたいと思います。

天草市長 安田公寛

うまいもうけ話に
くれぐれもご注意を！

消費生活

最近、次のような事例について「信用できるか？」との相談が相次いでいます。

【事例】

- ①電話で突然、「黄色い封筒や猫の絵がついた封筒が届いていないか」などと問い合わせが入る。
- ②その後、①と同じような封筒が届く。
- ③封筒の中身は
 - ・優良企業を思わせるパンフレットと、高配当をうたう社債の説明資料。
 - ・当選しましたとあり、外国紙幣の購入を勧める資料。

うまいもうけ話は、まずありません。お金を払ってしまったら取り戻すのはきわめて困難です。皆さん、くれぐれもご注意ください。

【問い合わせ先】

天草市消費生活センター ☎ 26677

実践

暮らしのECOセトラ

環境に配慮した行動にご協力を！

市では、市が目ざす将来の環境像を「満足感あふれる恵み豊かな環境都市」とし、この実現に向けた具体的な取り組みを定めた「天草市環境行動計画」を策定しています。同計画では、市民の皆さんに取り組んでいただきたい項目として

- 木材の利用推進。
- 自転車の利用。
- エコドライブ（環境に配慮した自動車運転）。
- 清掃・美化活動への積極的参加。
- ごみの分別の徹底と減量。
- 不法投棄をしない。

など、54項目を設定しています。

ぜひ、環境に配慮した行動へのご協力をお願いします。

なお、同計画の詳細については、市のホームページをご覧ください。

【問い合わせ先】

本庁・環境課 ☎ 21111内線1284



健康・医療のはなし



栖本病院院長
水流添 覚 医師

“お芋”を食べるときは ご注意を

お芋は、秋の旬の食材の一つです。なかでも里芋は、イモ類の中でも低カロリーで、食物繊維やビタミン、ミネラルを多く含むため、健康食品としても人気です。

さて、先日、当院へ救急患者が搬送されて来ました。栽培していた里芋を食べたら、のどに激痛が生じ、呼吸がうまくできなくなつたとのこと。里芋のくきを食べたそうです。サトイモ科の植物はお芋の部分がくきで、くきに見える所は葉柄と呼ぶのだから、正確には里芋の葉柄による食中毒症状です。

サトイモ科の植物は、不溶性のシュウ酸カルシウム結晶という物質を含んでいます。これは「小さなぬい針」のような形で、食べるとまさに「針千本飲んだ」状態となり、口の中に目に見えない無数の針が突き刺さります。芋の葉や葉柄、皮に多く含まれるらしく、里芋の皮をむくときに手

がかゆくなるのも、この針状結晶が手に刺さるためだそうです。里芋も品種によっては葉柄を食べるのだそうですが（有名な芋いっきです）。

一方、里芋の親戚である蓮芋は葉柄を食べます。蓮芋の葉柄、いわゆるはすがらの旬は初夏とのこと、食感が良く人気がある食材です。下ゆでなどであくを抜けば問題ないはず。

ところが昨年、「自宅栽培していたはすがらを食べたら、激痛がして口が開けられない」という患者さんが来院されました。シュウ酸カルシウム結晶による中毒でした。はすがらで中毒を起こすのか中毒情報で調べると、蓮芋によく似たクワズイモの葉柄を誤って食べたため、食中毒を起こしたという報告がありました。

後日、患者さんが食べた芋を見せてもらいましたが、蓮芋ではない別の芋のようでした。

た。クワズイモ（不喰芋）は文字通り食べられない芋で、鑑賞用として売られているほか、四国、九州では自生しているそうです。

いずれの場合も、自宅の庭にはえていた芋のくき（葉柄）を食べたことによる食中毒でした。ふだん、芋のくきを食べている人は、芋の種類や調理法には十分に注意してください。

不溶性シュウ酸カルシウム中毒の症状は、食べた直後からの口内の激痛です。嚥下（えんげ）飲み込むこと）や会話が困難となり、ときには呼吸困難を生じることもあります。不幸にも口にしてしまった場合には、冷たい水や牛乳を飲んだり、うがいをしたりして口の中の結晶を洗い流してください。ご自身で対応困難な場合や呼吸困難の場合などは、ただちに医療機関を受診してください。